



タイの食品・農産品産業 に対する投資奨励策

タイ投資委員会 (BOI) 投資促進第1部

ピラー ケエウスワン

2022年6月16日

タイの食品と農業の概観



タイの強固な農業基盤

豊富な天然資源 | 年間を通じた農作期 | 安価な労働力 | 熟練した労働力

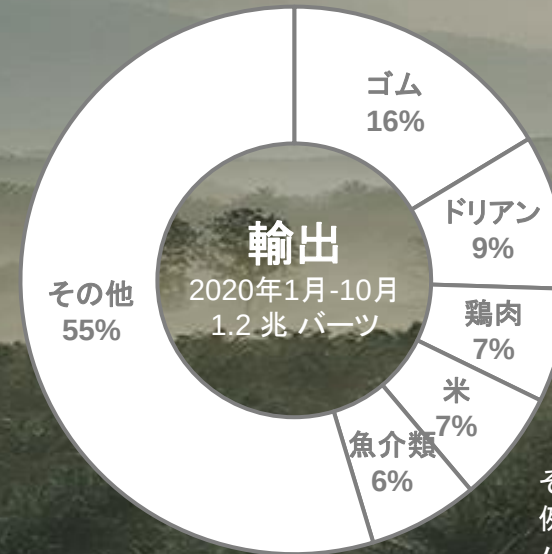
状況

50% の面積が農業用地

80% の食品原料が競争力のある価格で
現地調達可能

原動力

- + タイの製品品質標準に対する**顧客の信頼**が、農業輸出に対する高い需要に貢献
- + **政府の支援策** 例えばオンライン・オフラインの販売チャネル、所得保険、債務支援、および日本のGo to TravelやGo to Eatに類似するタイの内需刺激策
- + 作物の栽培、畜産や水産養殖に適した、天然貯水となる降雨量の増加および農産物価格の上昇を通じた、**気象条件と世界経済の改善**

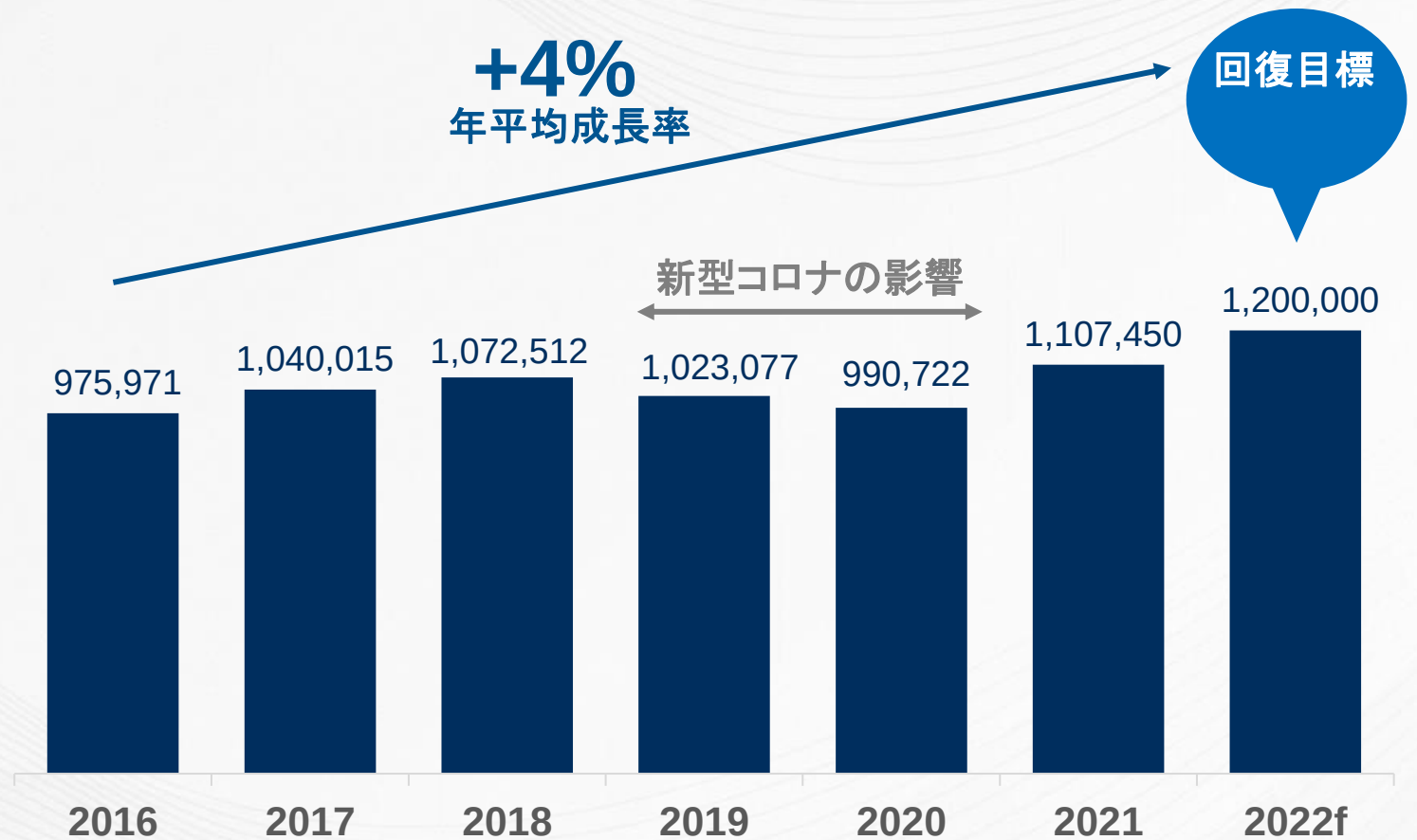


その他には、
例えばキャッサバ、砂糖、トウモロコシ、エビ、
パイナップル、マンゴスチンなどがある

輸出額に影響はあったものの、パンデミック後には成長の回復が見込まれている

タイの食品 輸出状況

(単位: 100万バーツ)

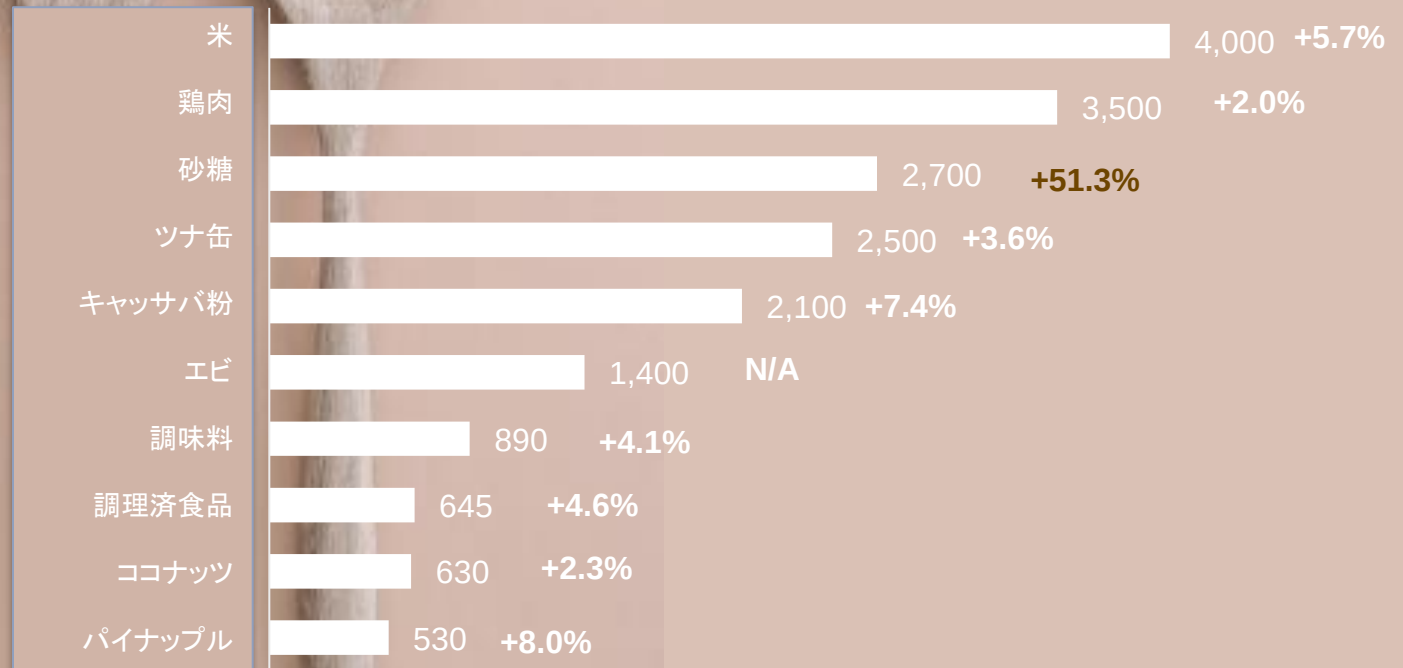


タイは多種多様の農産品・食品の輸出ハブ



タイの食品輸出額の予測

(単位: 100万米ドル 2020年実績と2021年の成長率見通し)



完全に統合された堅強な食品サプライチェーン

サプライ
チェーン

タイの
食品産業

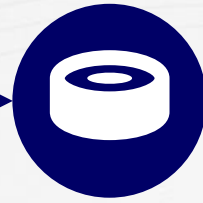


農産品・
最小限の処理

タイは2020年に260万トンを超える**鶏肉**を生産

世界第4位の
鶏肉輸出国

同年の**エビ**の生産量は
28万トン超
2021年に30万トンに
達する見込み

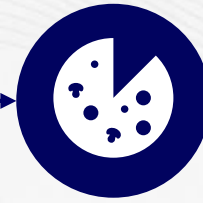


中間加工品
(缶詰、フリーズドライ等)

タイの養殖生産の39%は
ツナ缶の輸出へ

タイは23億米ドル超相当の
ツナ缶を米国、日本、
オーストラリアに輸出する一方

パイナップル缶も
2019年-2020年に
42%の高成長を達成



高度加工品
(調理済み食品)

調理済み食品の
主要生産拠点

2020年のアジアの主要
国およびCLMV諸国向け
輸出額は6%増

同国は現在インスタント
食品類の輸出で
世界シェア5.8%を占め、
第5位



食品原料・調味料

高度な食品原料のハブ

例) 人工**甘味料**、
グルタミン酸ナトリウム(**MSG**)、
調味料、原料

2020年のタイのソースと調製品
輸出額は8億4,100万米ドルに
達した

550超のメーカーを擁し、
世界第6位の輸出国



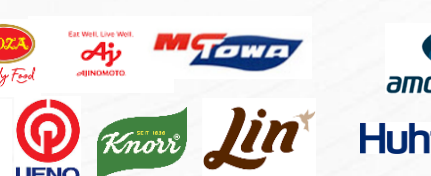
食品包装

2,000超の

食品包装メーカーを擁し、
タイには日本、米国、欧州
から多数の主要食品包装
企業が拠点を構える

多種多様な包装資材の
国内生産は
2021年に560万メトリックトン、
その輸出額は590億バーツ超

主要企業



タイの食品・農産品産業におけるビジネスチャンス

よりヘルシーな食のシステムに向けての方向転換

食品技術(フードテック)と農業技術(アグリテック)

バリューチェーン全体にわたるイノベーションと技術投資
例として、無駄のない、地元根差したバリューチェーンのための
eプラットフォーム、eコマース、アプリ、ブロックチェーン
生産者、トレーダー、市場、消費者とを直接つなぎ、食品の成功を最大化

機能食品、栄養補助食品、ダイエット食品

栄養価の高い、多岐にわたる高価値食品のバリューチェーンを
支えることにより、生物多様性を促進、農業従事者のレジリエンスを構築
例として、食品保存、加工食品、健康食ならびに
代替タンパク質(植物由来・昆虫由来)

インスタント食品および調理済み食品

都市化というメガトレンドと、中産階級の収入増加がけん引し、
成長し続けている、内需を捉える
その手段として、例えばマグロ、エビ、鶏肉、パイナップル、米、果物、野菜等
の豊富な供給



主要企業の動きに見るビジネスチャンス



インスタント食品
代替タンパク質
植物由来の食品

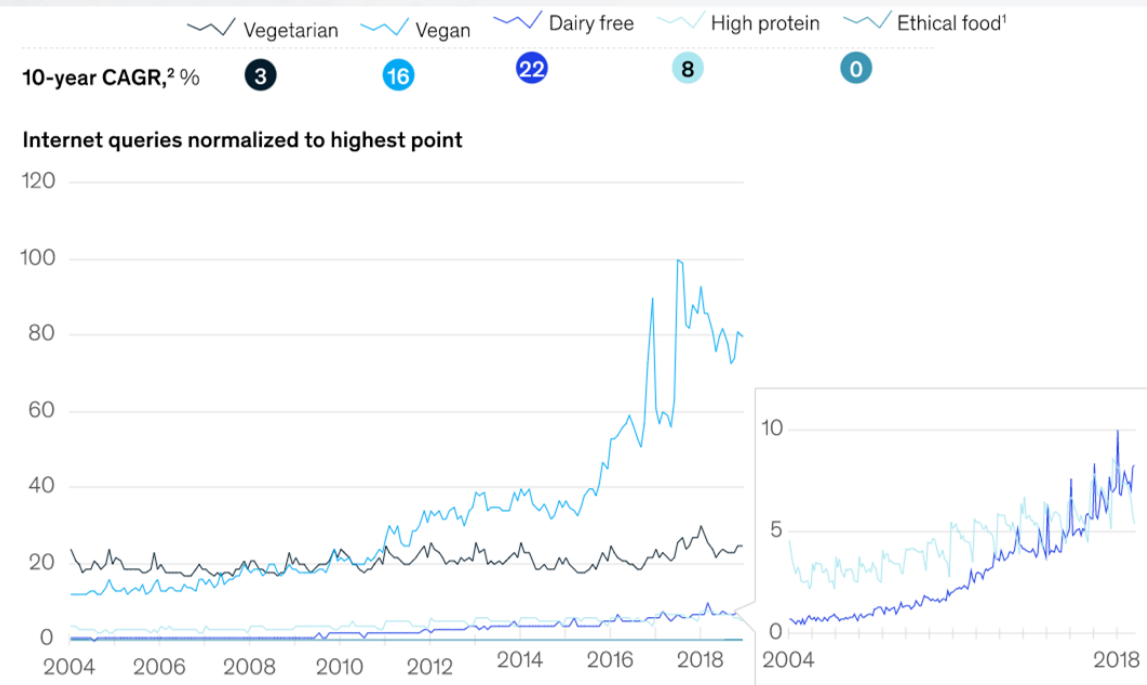
世界有数のシーフード生産者であるタイ・ユニオン・グループおよび、調理済みスイートコーンとコーンミルクでトップの市場シェアを誇るVフーズは、共同で、**代替タンパク質と、植物由来の調理済み食品**事業を国内外で展開



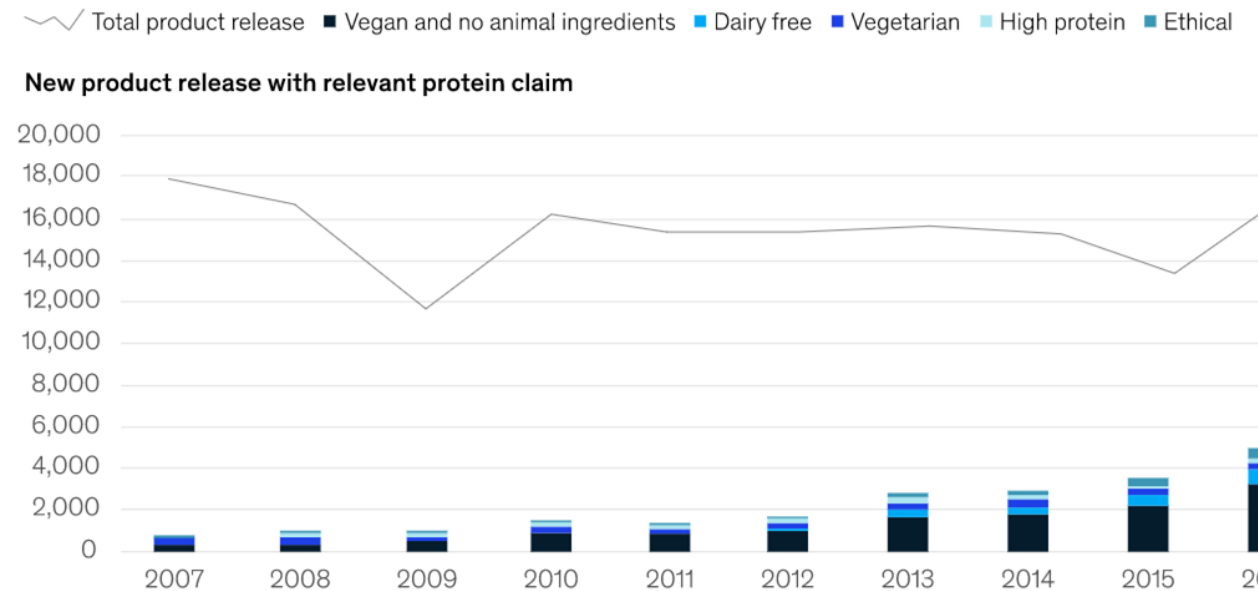
タイソンAPACは代替タンパク質の味が通常の肉よりも劣るという社会通念を払拭するべく**植物由来タンパク質の「ファーストプライド」**ブランドを立ち上げた
ロータス、ロータス・エクスプレス、ロータスのゴーフレッシュ、ビッグシー、セントラルフードホール、トップス、グルメマーケット、ホーム・フレッシュ・マート、ヴィラ、フードランド、マックスバリュ、リンピンを含むあらゆる主要小売店が取り扱っている
Shopeeでのオンラインリピート購入率は16%で、4.9星評価を獲得

代替タンパク質ビジネスのチャンスはタイだけには留まらない 世界の各国市場への輸出も大きなビジネス

グーグルトレンドに見る消費者の各種タンパク質への関心



市場に投入された代替タンパク質製品数の推移



タイにおける2020年の代替タンパク質食品のイノベーション総額は45億バーツ以上で
成長率は8%であった(推定値)

支援機関



フードイノポリス

タイランドサイエンスパーク内において
ウェットラボ・ドライラボ、研究、事業開発、
パイロットプラント、およびレンタル
スペース等十全な設備を提供



タイ国立食品研究所

学術的・技術的知識や最新情報を提供
することで、タイの食品産業セクターの
「価値創造」を促す



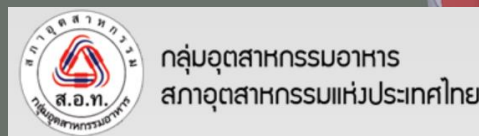
食品研究開発機構(IFRPD)

食品科学技術の研究機構として、社会、学術機関、
地域コミュニティに対し、食品情報を提供する役割を
果たし、食品産業を支援



タイ加工食品業者協会

国際食品標準や国内の食品規制の
確立に対する支援



タイ工業連盟(FTI)

食品加工業部会

食品産業の効率を高めるために、
更なるネットワークの改善を目指し
メンバー間の関係を支援・強化



基金の支援

タイ研究基金(TRF)、農業研究開発庁(ARDA)、
国立科学技術開発庁(NSTDA)、
国家イノベーション庁(NIA)など様々な政府機関が
支援を提供



支援的な 政府政策

BOIからの投資恩典

税法上の恩典

- 最大13年までの法人所得税(CIT)の免除
- 免税期間満了後の法人所得税の50%減税
- 機械輸入税の免除
- 原材料輸入税の免除(輸出品の製造および研究開発目的で使用するもの)

税制以外の恩典

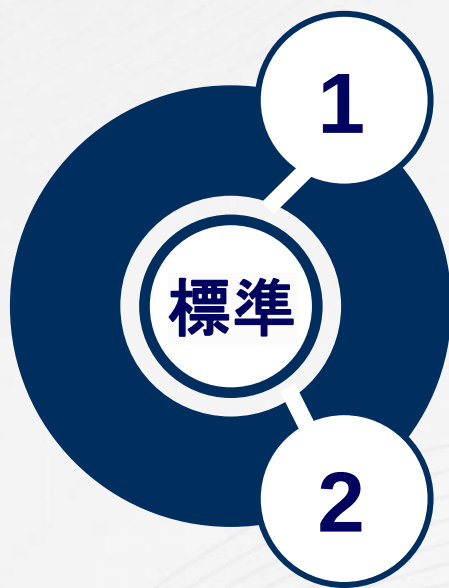
100% までの外国人による株式所有



ビザ・就労許可の取得支援
(経営陣や専門家)

BOIの投資恩典制度

標準恩典



業種に基づく恩典

- ・ バイオ・医療産業
- ・ 先端製造業
- ・ 基礎・裾野産業
- ・ デジタル、クリエイティブ産業、高付加価値サービス

最大8年間の
法人所得税免除

技術に基づく恩典

- ・ バイオテクノロジー
- ・ ナノテクノロジー
- ・ 先端材料テクノロジー
- ・ デジタルテクノロジー

10年間の法人所得税の
免除



追加恩典



メリットに基づく恩典

競争力向上のための活動が対象

- ・ 研究開発(R&D)
- ・ 学術・研究機関または技術・人材育成基金に対する支援
- ・ 知財ライセンス料
- ・ 高度技術訓練
- ・ 現地サプライヤーの開発
- ・ 製品・パッケージデザイン
- ・ 技術・人材育成基金への寄付

立地に基づく恩典

- ・ 東部経済回廊(EEC) 3県
- ・ 特別経済開発区(SEZ) 10県
- ・ 南部国境地域
- ・ 一人当たりの所得が低い20県
- ・ 工業団地・奨励を受けた工業区
- ・ 科学技術パーク
(TSP、フードイノベーションパーク、Space Krenovation Park)

アジェンダに基づく恩典

- ・ タイ証券取引所(SET)およびオルタナティブ投資市場(MAI)への上場に対する投資促進策
- ・ 効率向上措置
- ・ 草の根経済発展支援措置

業種・製品に基づく標準恩典パッケージ

		法人所得税の 免除	機械輸入税 の免除	原材料輸入税 の免除	税制以外 の恩典
8年間 法人所得税の免除 0年	A1	8年間 + メリット*	✓	✓	✓
	A2	8年間 + メリット	✓	✓	✓
	A3	5年間 + メリット	✓	✓	✓
	A4	3年間 + メリット	✓	✓	✓
	B1	■ + メリット 年間	✓	✓	✓
	B2	■ 年間	■	✓	✓

恩典は技術のレベル、
サプライチェーンにおける役割、
立地等主要な要素に基づく

農産品・食品産業に対するBOIの恩典

以下の事業には最大8年間の法人所得税免除が付与される



医療用食品および栄養補助食品の製造



先端技術の採用、例えば果実熟度センサー、無線周波数害虫駆除、等級付け、梱包、保管における核磁気共鳴



微生物、植物細胞または動物細胞を使用した生体分子および生物活性物質の製造



バイオテクノロジーを使用した種子産業と植物、動物または微生物の品種改良



(大豆を除く) 植物または動物からの油脂の製造



食品、飲料、調味料の製造
(アルコール飲料、カフェイン飲料、ベーカリー製品、キャンディーを除く)



センサー、ドローン、温室などのスマート農業システムの採用



植物工場への投資



ISO22000等の食品安全基準に準拠した動物用飼料の製造

食品産業に対する投資恩典(1)

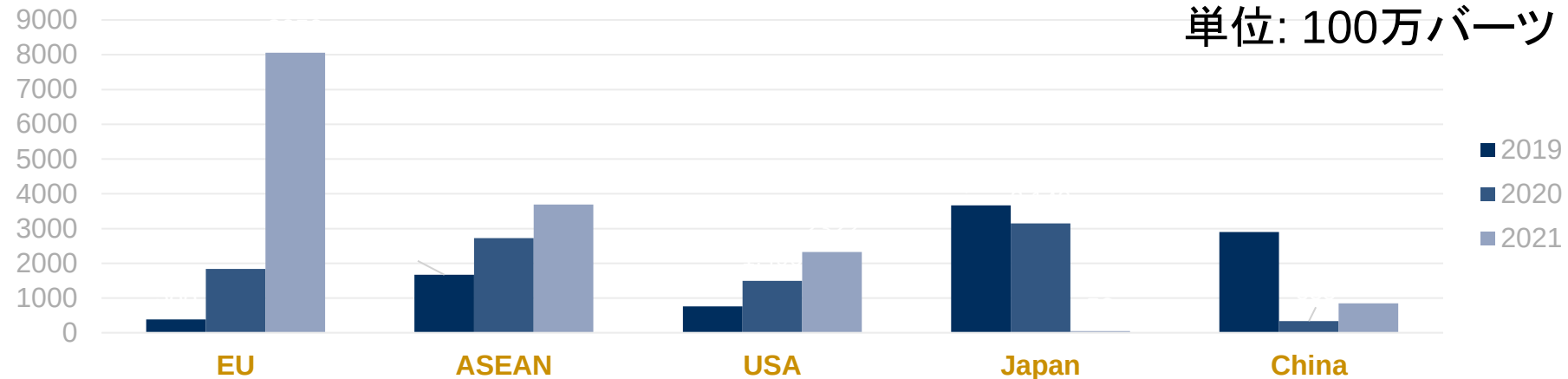
業種	恩典	法人所得税 の免除	機械輸入税の 免除	輸出用生産に使用する 原材料 輸入税の 免除	税制以外 の恩典
1.17 最新技術を使用した食品の製造・保存、飲料、食品添加物または食品原料の製造 （飲料水、アイスクリーム、キャンディー、チョコレート、ガム、砂糖、炭酸飲料、アルコール飲料、カフェイン飲料、植物からの粉末・でん粉、ベーカリー製品、インスタントヌードル、鶏エキス、鳥の巣を除く） 条件 1. 混合や希釈工程のみのプロジェクトは奨励しない 2. 発酵工程を伴うプロジェクトは、研究で立証された種菌を使用すること	A3	5 年間	✓	✓	✓

食品産業に対する投資恩典(2)

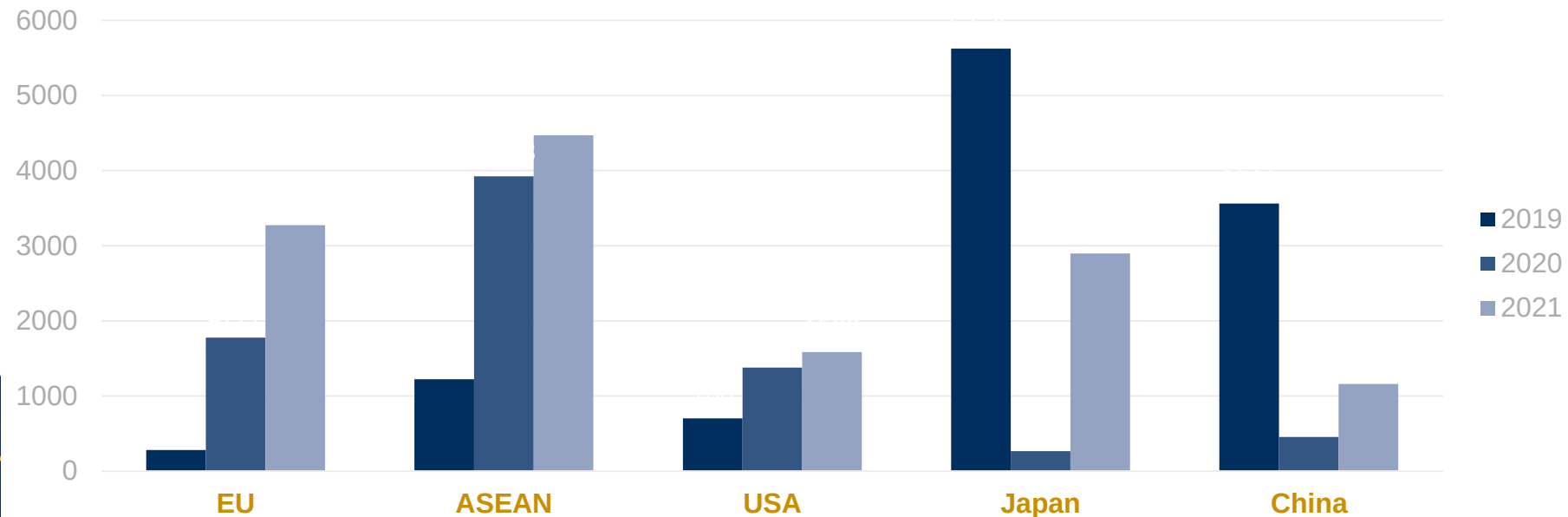
業種	恩典	法人所得税 の免除	機械輸入税の 免除	輸出用生産に使用する 原材料輸入税の 免除	税制以外 の恩典
1.22 動物用飼料または飼料成分の製造					
ケース 1					
1. 奨励証書に指定された操業開始期限内に、ISO22000等の食品安全管理システム規格または世界食品安全イニシアチブ（GFSI）が承認した規格の認証を取得すること トレーサビリティ・システムを有すること	A3	5 年間			
2. 法人所得税免除恩典の使用申請のために、規格の認証申請の証拠、あるいは、準備の証拠を提示すること					
ケース 2					
1. 奨励証書に指定された操業開始期限内に、HACCPやGMP等の国際規格の承認を取得すること	A4	3 年間			
2. 動物飼料または飼料成分の製造において国際規格の認証を取得したことのない法人であること トレーサビリティ・システムを有すること					
3. 法人所得税免除恩典の使用申請のために、規格の認証申請の証拠、あるいは、準備の証拠を提示すること					
ケース 3 ケース1および 2を満たさない場合	B1	-			
7.11 研究開発	A1	8 年間			

農産物・食品セクターに対する外国直接投資(2019年-2021年)

申請プロジェクトの投資額



認可プロジェクトの投資額



BOIによる 支援サービス

ワンスタートワンストップ投資センター (OSOS)

より便利に
より効率良く
より短時間で



- タイでの会社設立等に関し
包括的な情報やアドバイスを提供
- 3時間以内にワンストップでビザと
就労許可を発給
- 新規の投資企業のため
簡易かつ迅速に手続き
- 政府および民間機関の
有用な連絡先データベース
- 投資企業に関係あるその他申請手続き

18th Floor, Chamchuri Square Building
319 Phayathai Road, Pathumwan
Bangkok 10330, Thailand

Tel: 66 (0) 2 209 1100
Fax: 66 (0) 2 209 1199
Email: osos@boi.go.th

詳細情報はQRコードおよび
下記お問い合わせ先へ
For More Information



BOI バンコク本部

 555 Vibhavadi-Rangsit Road.,
Chatuchak, Bangkok 10900,
Thailand

 +66 2553 8111

 head@boi.go.th

BOI 東京事務所

 タイ王国大使館経済・投資事務所
〒107-0052 東京都港区赤坂2-11-3
福田ビルウェスト8階

 +81 3 3582 1806

 tyo@boi.go.th

BOI 大阪事務所

 タイ王国大阪総領事館
〒541-0056 大阪府大阪市中央区
久太郎町1-9-16 バンコク銀行

 +81 6 6271 1395

 osaka@boi.go.th

※BOI大阪事務所の管轄エリアは
関西、中国および四国